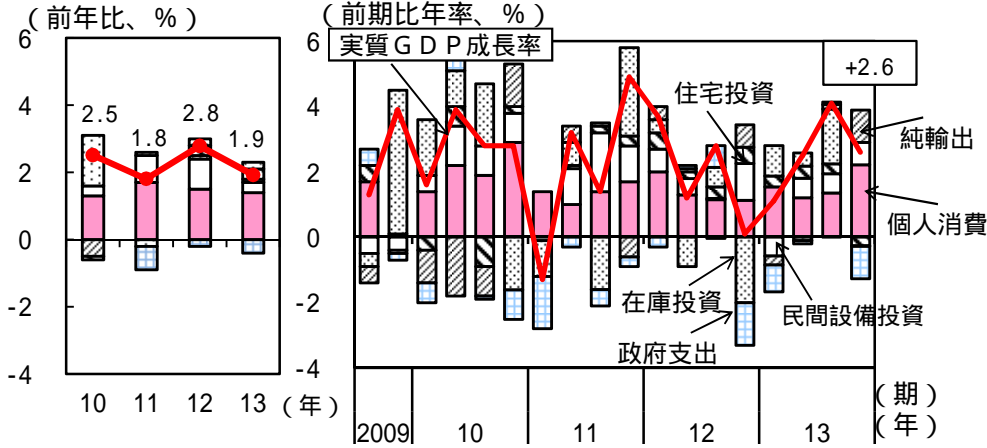


1. アメリカ

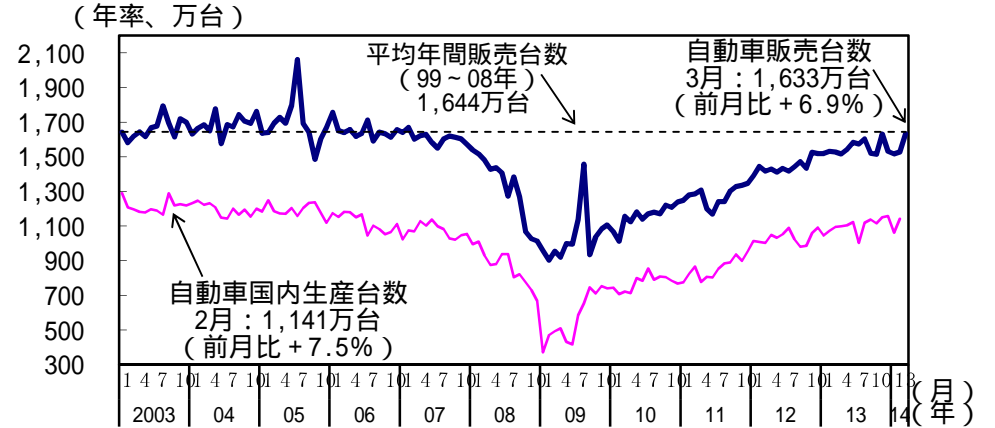
アメリカでは、景気は緩やかに回復している。

実質GDP成長率（3次推計値）
2013年10～12月期は前期比年率+2.6%成長

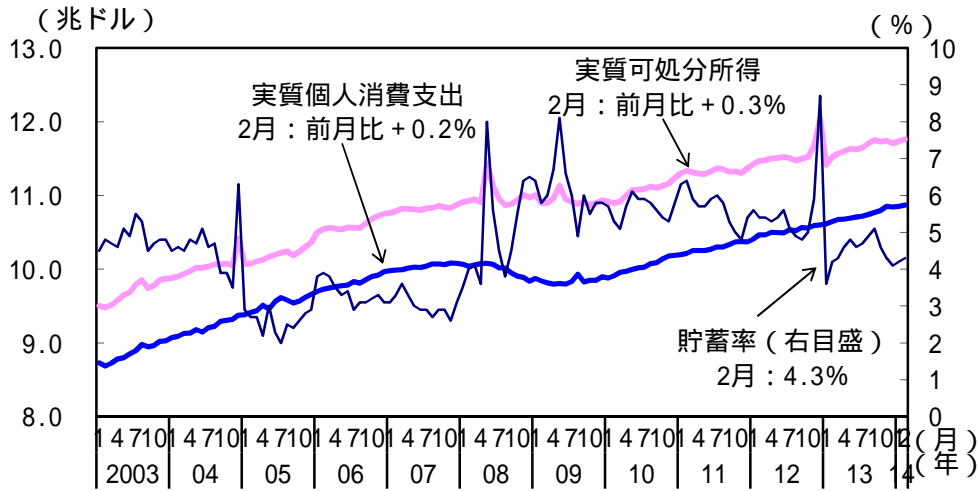


(備考) 2013年10～12月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：2.2、民間設備投資：0.7、住宅投資：0.3、在庫投資：0.0、政府支出：1.0、純輸出：1.0。

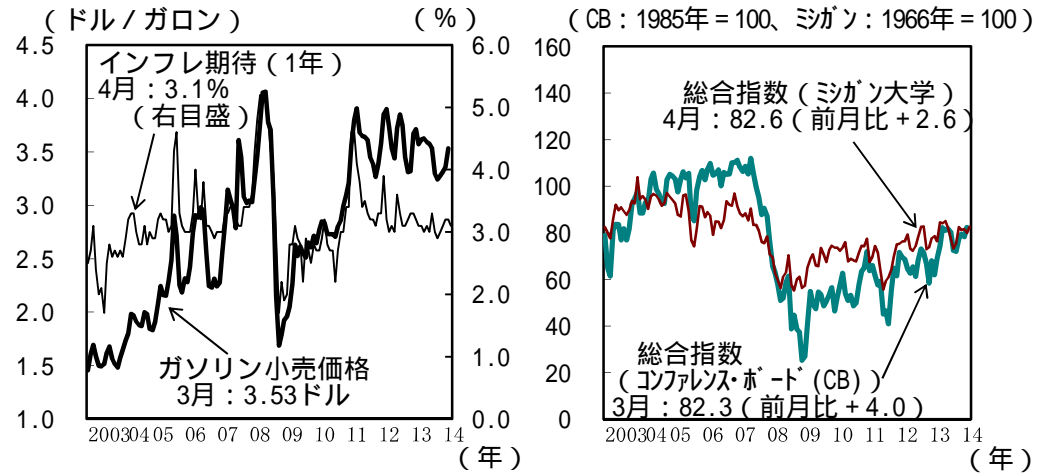
自動車販売台数は持ち直し



消費は緩やかに増加

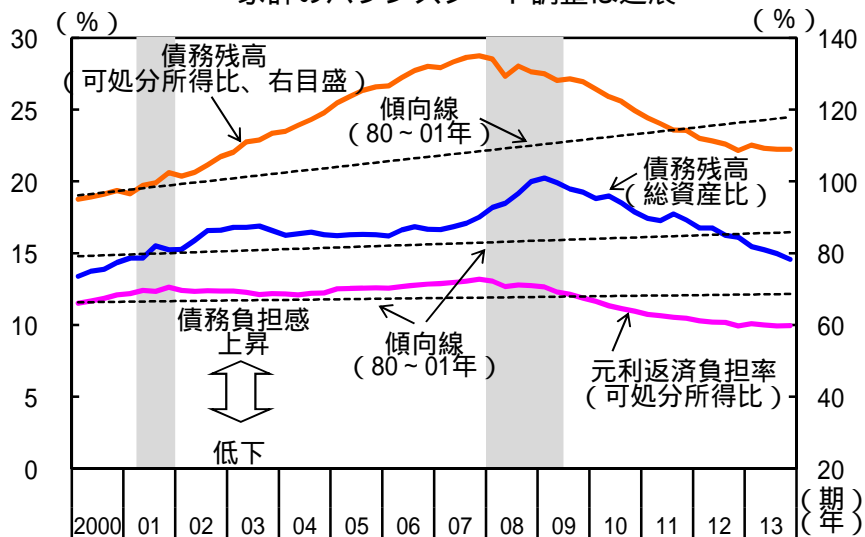


消費者信頼感指数は持ち直し



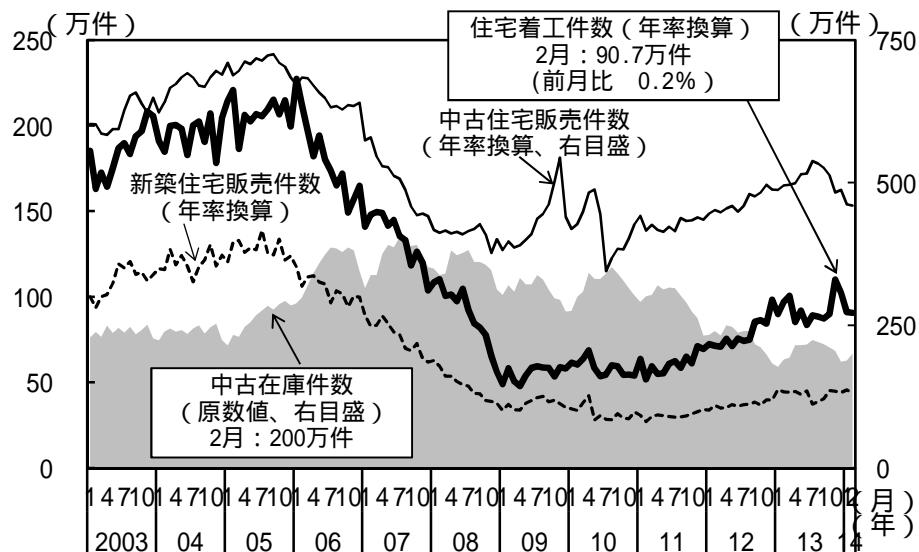
(備考) 1.インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。
2.ガソリン小売価格は月平均価格。

家計のバランスシート調整は進展



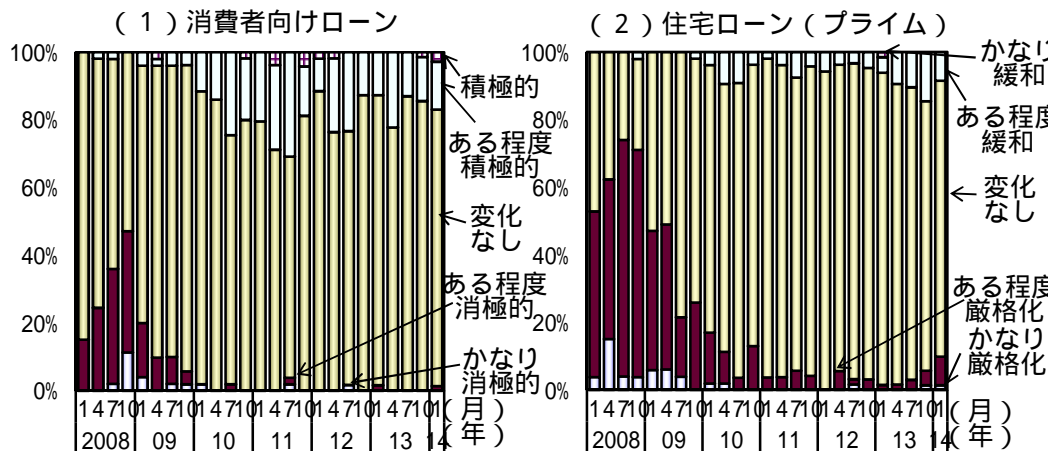
(備考) 1. 網掛け部分は景気後退期を指す。
2. 「元利返済負担」は、住宅ローン及び消費者ローンの返済負担を示す。

住宅着工はこのところ増勢が鈍化



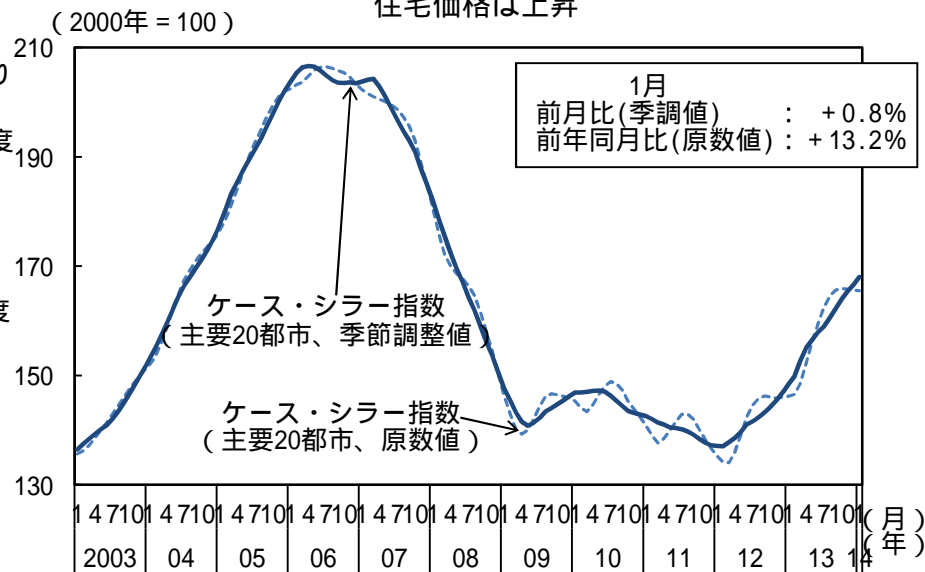
(備考) 13年2月の販売件数に対する中古在庫の割合は5.2ヵ月分、コアロジックが公表する市場にでていない潜在的な在庫(10月)は4.5ヵ月分に相当。

金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はやや緩和

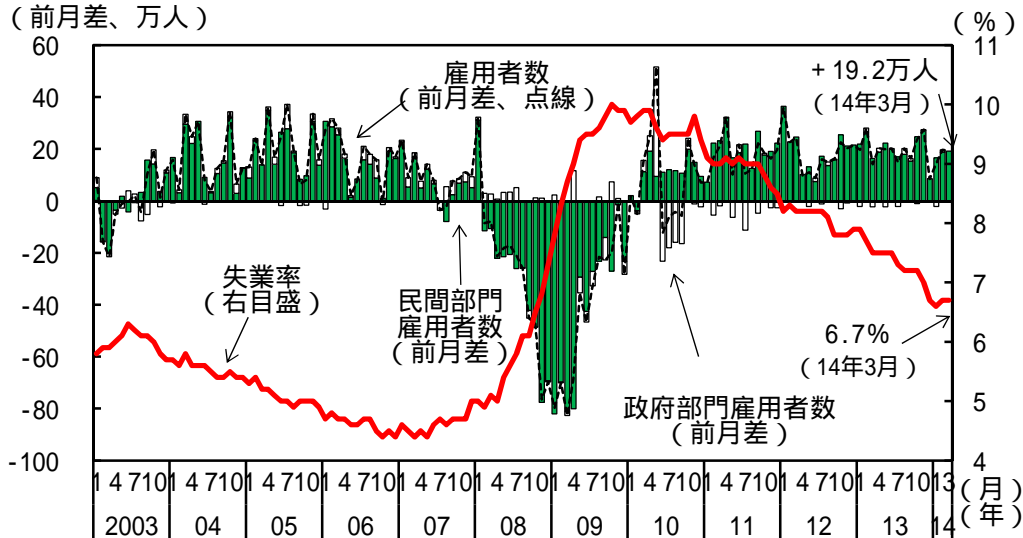


(備考) 1. 金融機関に対し、(1) 過去3か月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(プライム)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。
2. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。

住宅価格は上昇

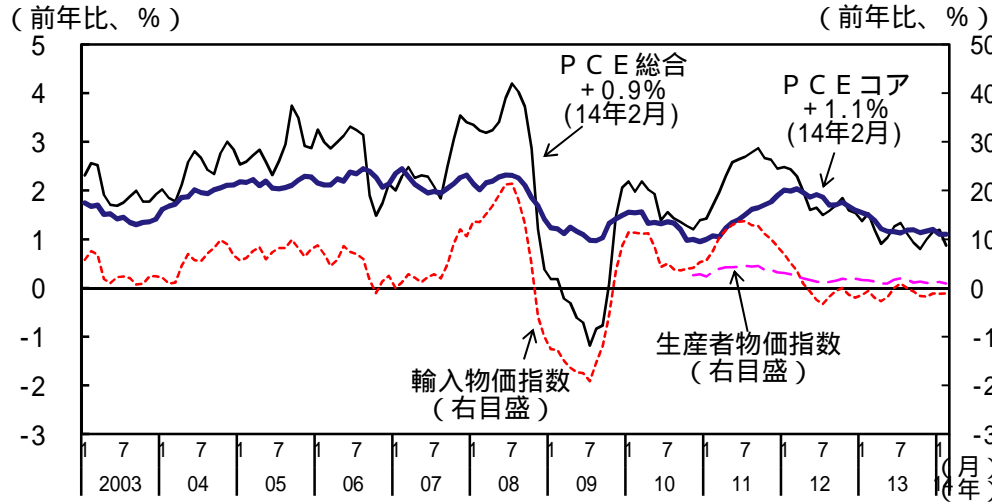


雇用者数は増加しており、失業率はおおむね横ばい



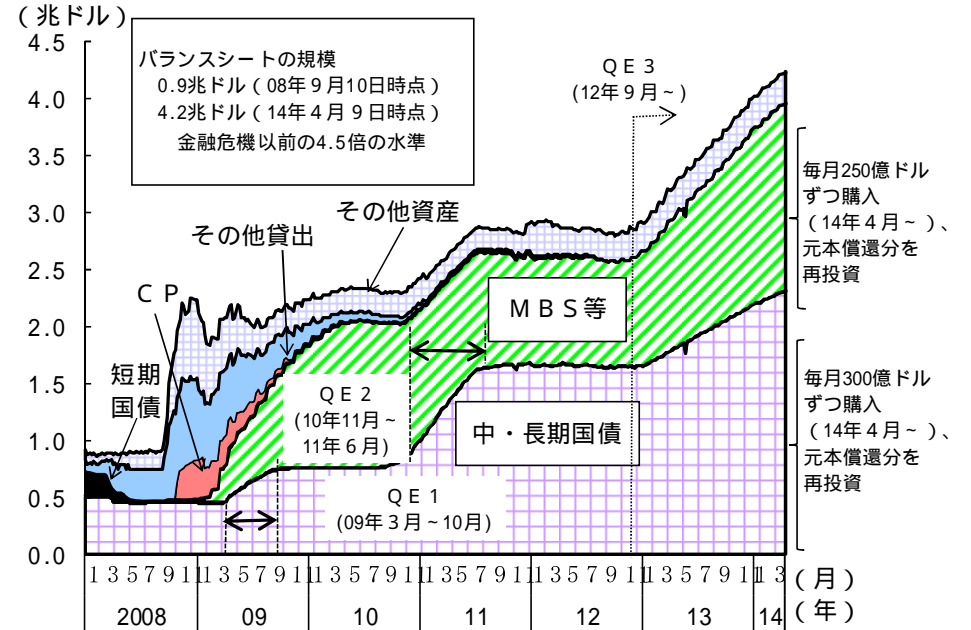
(備考) 1. 雇用者数は非農業部門。
2. 2008～09年の雇用者数の増減は 835.5万人、10年以降の雇用者数の増減は +824.1万人。

コア物価上昇率はおおむね横ばい



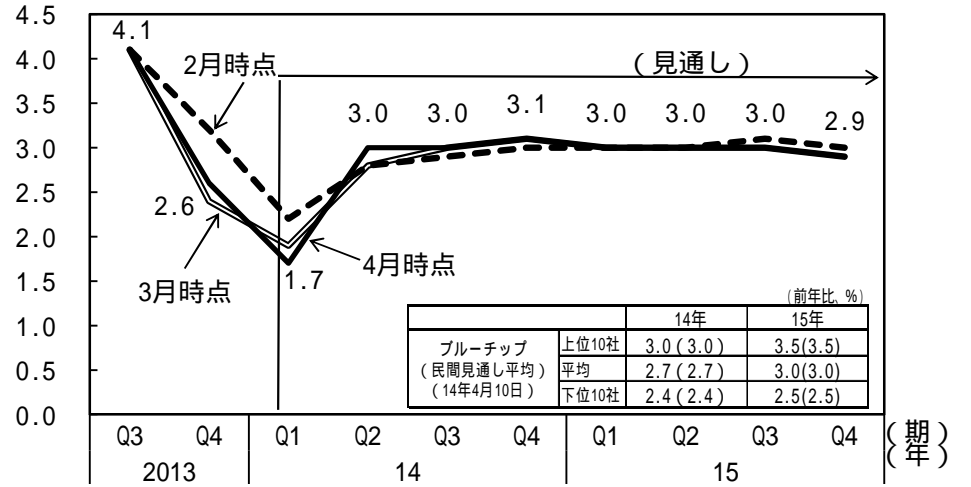
(備考) コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

FEDのバランスシート(資産サイド)



(前期比年率、%)

ブルーチップ 4月



(備考) ブルーチップのカッコ内は、14年3月10日時点の見通し。